

活動報告書

1. 団体名 一般社団法人 Think Locally Act Globally
2. 活動期間 2024年6月～2025年2月
3. 活動内容

2024年1月1日の能登半島地震で被災した輪島市門前町道下地区で、地域の復興のために立ち上がった女性グループを支援するため下記の活動を行った。

- 女性グループのワークショップ開催

6月8日に女性グループメンバーとワークショップを開催した。今後の活動として、7月に同女性グループが初めて主催する交流イベント、9月に新潟県中越沖・中越地震の復興を視察する研修を行うことを決定した。また女性グループ名と将来のお惣菜販売活動についても話し合った。

- 女性グループ主催の交流イベントの実施

7月13日に女性グループ(「笑・haha とうげ組」と命名)が主催し、被災した人々に笑顔になってもらうための交流イベントとして集会所でお茶会を開催した。ゆっくりとお茶を飲みながら、被災した当時のこと、現在の暮らしのことなど語り合った。和気あいあいとした雰囲気の中、参加者30名が安らぐ時間を過ごした。

- 新潟県中越沖・中越地震の復興についての視察研修

9/14～9/15の1泊2日で新潟県中越沖・中越地震の復興活動を視察する研修を実施した。参加者は「笑・haha とうげ組」メンバー5名、TLAGスタッフ2名。また災害社会学を専門とする北陸学院大学田中純一教授、中越沖・中越地震の復興に関わった長岡技術科学大学の木村悟隆准教授にもご協力いただいた。訪問先は柏崎市 NPO 法人 aisa、長岡市山古志のおらたる復興交流館、直売所の「幸福市」(ふくいち)と木籠「郷見庵」、山菜ごっつお「多菜田」食堂など。特に、地震後に山古志の女性グループが中心となって立ち上げた直売所や食堂の女性たちからの「必ず復興しますから!」「女性が元気だと地域が元気になるのよ」「自分たちが立ち上がらなければ地域の復興はない」という言葉に強く励まされた。同じように地震で被災した山古志の女性たちの言葉は、真っ直ぐに「笑・haha とうげ組」のメンバーに届いたようだった。この視察研修で、道下の女性たちは悲しみや傷ついた自分の気持ちを大切にしつつも自分たちでできることを少しずつ始めていこうと思いを新たにした。

4. 今後に向けて

上記活動の後、「笑・haha とうげ組」は交流イベントを地域で定期的に開催していくことを決めた。2024年10月はハロウィンお茶会、12月はクリスマスお茶会、2025年1月は追悼セレモニー、2月は節分お楽しみ会を開催した。仮設住宅と自宅で暮らす人々が立場に関係なく共に交流できる機会を作り、イベントへの参加者も徐々に増えてきている。また「笑・haha とうげ組」のメンバーは地域の人々や支援団体と連携し、2025年中に道下地区にスーパー&カフェを設立しようと計画している。日常生活に必要な買い物をするお店がひとつもない地域で、買い物の不便さを減らし、地域に恒常的な交流拠点を作ろうと復興活動に尽力している。

別添:活動写真



ワークショップの様子



お惣菜販売のコンセプト



7月のお茶会のチラシ



初めてのお茶会の開催



柏崎 NPO 法人 aisa の講義



おらたる復興交流館訪問



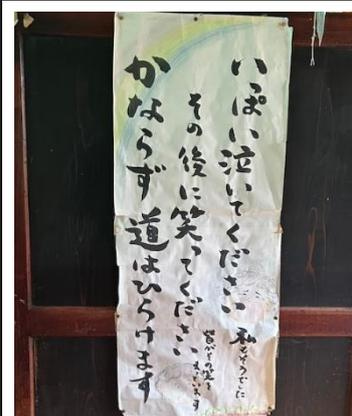
山古志から能登へメッセージ



「幸福市」の女性たちと



「郷見庵」で復興の話聞く



勇気づけられたメッセージ



「多菜田」食堂にて交流



「多菜田」食堂代表と